

公園リニューアルの整備方針

[整備方針]

- 開設時期が古い公園や遊具等の老朽化が進んでいる公園を優先して整備する。
- 子どもの居場所としての街区公園の魅力向上を図る。
- 誰もが安心して利用できるよう、安全性の向上を図る。



[現状の課題]

- 「遊具の安全に関する基準」に基づく安全領域（遊具の安全な利用に必要な離隔）が十分に確保されていない。
- 昭和50年代に整備された公園が多く、旧式でどこも同じような遊具が設置され、ユニバーサルデザインの考え方が不足している。
- フェンス、ベンチ等の遊具以外の公園施設も老朽化が進んでいる。



[リニューアル整備のイメージ]

- 遊具の複合化**：限られた公園内のスペースに安全領域を確保しつつ遊具を配置するため、複数の機能を有した複合遊具を設置する。
- 遊具のインクルーシブ化**：障がいの有無にかかわらず「誰もが一緒に遊べる公園」を目指し、インクルーシブ遊具を設置する。
- 公園施設の更新**：外周フェンス、ベンチの更新や照明のLED化を行う。

[リニューアル整備の検討にあたって]

- 「手をつなぐ育成会」や「あおいハトの会」、「地元自治会」との意見交換を行い、設置する遊具等について検討を行う。
- 近隣住民や公園利用者からの過去の要望等を再チェックし、整備内容を整理する。



遊具の複合化
インクルーシブ化



- ・遊具の複合化により安全領域の確保が可能
- ・遊具のインクルーシブ化により、より地域に開かれた公園環境が実現